岐阜大学附属図書館報

ISSN 0915−8960

Zun dō

寸胴

THE GIFU UNIVERSITY LIBRARY BULLETIN

第27号 1999. 3

附属図書館ホームページURL : http : // www. gifu-u. ac. jp / ~ gulib /

目　次

図書館の整備とその有効利・活用を　金城　俊夫……1
医療技術短期大学部移転と図書館　樋口　京子……2
館蔵資料紹介No.17
「岐阜県農家副業写真資料」について　荒幡　克己……4
1999年　購入雑誌変更リスト ……6
私の目から見た図書館　春日井里美 ……8
お知らせ ……8
職員の異動 ……8

図書館の整備とその有効利・活用を

金　城　俊　夫

図書館委員会は、この館報「寸胴」を６月発刊の28号からペーパーレス化し、ホームページで見てもらうことに決定したようである。

図書館の電子図書館化が進む中、また本学が創立50周年を迎える節目の時に当たり、誠に時宜を得た決断で、関係者の先見の明に敬意を表したい。

図書館は今、館長を中心に事務職員一丸となり、図書館委員会委員の先生方のご協力を得て、電子図書館化を推進すると共に、諸改革に真剣に取り組んでいる。

その一環として、自己評価報告書「数字で見た岐阜大学附属図書館」を編纂し、４月からホームページで公開される予定であるが、その中に図書館の現状と課題が浮き彫りにされ、新たな改革の方向性が示されている。

自己評価報告書を是非見てほしいし、それぞれの立場で図書館の整備充実のため一層のご協力をお願いしたい。

なお、電子図書館化の内容については、館報26号掲載の、情報サービス課長、青木利根男氏による「大学図書館の動向」に詳しく解説されている。一読をお勧めしたい。

さて従来、よく「ある大学の学術レベルを判断するには、先ず図書館を見ることだ」と言われる。大学の図書館は、大学の顔であり、その整備状況は大学の教育研究への取り組みのバロメーターとも言えるからであろう。確かに蔵書の数、教育研究資料の整備状況などは重要である。しかし私は、それ以上に図書館を如何に多くの教職員、学生が利・活用しているかの方がより重要でなかろうかと考える。

そういう観点から、我が岐阜大学の図書館はどのように利・活用されているのであろうか。

前述の「数字でみた岐阜大学附属図書館」を見る限り、平成８年度の入館者数は同規模の大学のそれに比較して少ないようである。具体的に例を挙げて恐縮だが、本館における教職員の１年間の延べ入館者数は9,600名で、これを柳戸キャンパスに勤務する教官数だけで除しても１人当たり僅か20回の入館（利用）である。学外者の入館者が2,900名あることからも教職員の利用率の低いことが伺える。さらに学生の利用も１人当たり年間25回で、極めて少ないと言わざるを得ない。

教官の利用率の低さについてはいろいろ理由があろうが、ただ学生に対しては教官１人１人がそれぞれの講義を通して、図書館の利用をもっと積極的にプロモートする必要があるのではなかろうか。

もちろん近い将来、図書館まで行かなくても情報が入手できる電子図書館化が完備することだろう

が、それまではやはり多分野の学術情報の集積する図書館を積極的に利・活用してほしいと思う。

ところで既述したように、大学図書館は今、電子図書館的機能の充実にそれぞれ努力している。

本学の図書館でも、電子図書館化への第一歩として、目録情報の遡及入力に取り組んでいるところである。しかし遡及入力作業には余分な人件費等の諸経費を必要とし、文部省からの運営予算が増えない中で、その経費を如何に捻出するかが、その成否を左右していると言っても過言ではない。

学長としても経費の捻出に努力しているところであるが、各部局等でも、この電子図書館化の意義を十分理解していただき、その推進のため格別のご支援を賜るようお願いしたい。

いずれにしても、図書館は学術情報の集積拠点として、特に学際的な学術情報交流の場として、将来とも大学の教育研究に欠かせない重要な施設である。情報化がより一層進む21世紀に向け、図書館は急速に電子図書館化されるであろうが、我が図書館もその潮流に後れをとらぬよう全学的に協力して整備していきたいものである。

そのためにも、医学部等の統合移転に伴う医学部分館の機能をどのように拡充発展させるかも含めて、電子図書館時代への確たる将来構想を、館長をはじめ事務職員はもちろん、特に各部局選出の運営委員を中心に全学的立場で検討の上提示していただくようお願いしたい。

さて、館報「寸胴」は印刷物として配布されるのは今回が最終号である。

次号以降はホームページでご覧いただくことになるが、これは教職員、学生が自らホームページにアクセスしてくれることを前提にしている。是非その主旨をご理解の上、引き続き「寸胴」をホームページ上で見ていただくことを期待したい。

「寸胴」のペーパーレス化への移行を前に館長から投稿依頼があった。図書館の一層の活性化を願って、敢えて表題を中心に所感の一端を述べさせていただいた。

（きんじょう　としお：岐阜大学長）

医療技術短期大学部移転と図書館

樋　口　京　子

医療技術短期大学部は、今年秋に柳戸に移転する。新しい校舎は日々装いを変え建築が進んでいる。移転に伴い、医療技術短期大学部の学生にとって図書館をめぐる状況は、本館図書館での一時保管を経て、医学部の移転とともに、メディカル・メディア・センター（MMC）へと、大きく変わろうとしている。21世紀、柳戸の地で学生達は二つの図書館を利用して、どのような出会いをし、自らの可能性を拓いていくのであろうか？ここでは自分自身と図書館との関わりを深めることになった二つの出会いを振り返り、移転を契機とする図書館をめぐっての今後の期待について考えてみたい。

一つは、小さいころからの本との関わりの延長としての図書館である。本を読み、しばし空想の世界に漂っていることが好きであった。高校生の頃から、可能な範囲でその小説や和歌の背景となっている場所に出向いた。時を越えることはできないけれど、作者の世界との出会いを持ちたいという思いから、風景や陽射しや風などの気象条件、その地に住む人々や方言に出会うために出かけた。例えば、風の又三郎の舞台である岩手に風が強くなる季節に訪れ、風の音に五感を集中させてみる。また、山辺の道を歩き、三輪山を背景に額田王の和歌を詠む。夢中になりすぎて、地元の人に「そのペースでは、日が暮れるまでに天理までつかない。走れ。」と心配される一幕もあった。とにかく、遠回りや道草をしながら、歩き歩いてその世界を五感で感じとろうとすることに心地よさを感じていた。それらの体験の後、図書館を再度訪れ、高い天井や窓から風にそよぐ木々を見ながら、もう一度読み返した。体験した風景に思いを馳せ、新たに関連する図書を紐解くということを図書館で繰り返していた。図書館は、今でも日常から心を解き放ち、心弾む空間である。

二つ目は、自分自身の今を形づけるようになった原点である、いわゆる“寸胴”としての図書館との出会いである。学際的な課題に取り組む上での構えを学んだ。東京広尾の有栖川公園の石畳を昇りきった森の中にある都立中央図書館である。今でもその光景は懐かしく思い出され、３年に１度は、あの頃の自分に出会いたくて訪れている。

それはとても暑い夏の出来事であった。「習うより慣れよ、体験の要」という教授の言葉のもと、

「研究情報処理」の授業が始まった。テーマを決め、テーマに関する調査過程とその過程における問題点、今後のデータ整理法をまとめると同時にそれらの資料をもとにテーマについてレポートを提出するという学習課題であった。受講生が多く、その大学の図書館は、人であふれていた。10日間という限られた期間であったため、所在が明らかになった資料も取り寄せる時間はなく、自分の足で集めるしかなかった。その当時は、現在のように学内ＬＡＮを通じて蔵書やMEDLINE（医学文献情報データベース）や雑誌記事索引CD-ROM等の電子情報による検索が普及していなかった。そのため、気がつけば図書館から図書館への地下鉄の中または路上にいた。当時勤務していた看護短大および医学部図書館、身近な区立の図書館から日比谷図書館、東京都立中央図書館等と毎日自分の足を頼りに、図書館巡りをすることになった。

図書館に蓄積されている専門領域だけではなく、人文社会学系等を含めた知的財産を、現在自分が悩んでいる医療の現場の学際的な課題を解決するために、どのように活用していくのか、自分の領域しか通用しない曖昧な言葉を避けるためには、どのような取り組みをする必要があるのか、他の領域の雑誌等を参考にする場合、どのような点に留意すべきか等を改めて問うこととなった。

これらの問いに、「習うより慣れよ」の言葉の通り、少しずつ応えられるようになった。それまでは、専門的書誌である「最新看護索引」や「医学中央雑誌」から、検索をはじめていた。包括的書誌としての参考図書の解題、書誌の書誌、索引、日本件名図書目録から検索をはじめることでテーマに関連するキーワードを広い範囲で捉えることができ、また文献も考えていた以上に幅を持つことがわかった。その時のレポートは稚拙なものではあるが、系統的に学ぶことの奥深さを、足でつかみ取った感動が詰まっている。このプロセスを通じて、看護独自の問題と思っていたこと自体が問題であり、特に汎用性と独自性を明確にすることの重要性を学んだ。自分自身が立っている位置を確かめ、客観的な視点で、看護を見つめ直すきっかけになった。

この二つの図書館を巡る体験を通じて拡散的な思考は得意となったが、総合化し、収束させていく思考は、まだまだ修行中である。

次に、移転を契機とする図書館をめぐっての今後の期待について考えてみたい。暑い夏の日、医学系と人文社会学系の図書館を巡り歩き、それぞれの蔵書の特徴に触れながら、これらが同じ敷地内にあればと何度も思った。そのことが近い将来実現するのである。

医療・保健・福祉をめぐる状況が、大きく変化を遂げようとする時期、私が臨床での経験の後、広尾で学際的な課題に対する構えを学んだあの当時より、さらに医療技術の高度化や、高齢化や慢性疾患患者の増加などから学際的、総合的なアプローチが不可欠となる課題が山積している。また、看護の対象は、健康上に何らかの問題や課題を持って社会の中で生きているあらゆる年齢層や生活背景を持つ人々である。人々の価値観の多様化が進み、求められる患者ー医療者関係も実に様々である。したがって看護者には、①生老病死への向き合う姿勢、倫理的側面、②家族や地域社会の理解、社会的経済的側面、③ヘルスプロモーションや慢性疾患患者に対する教育的側面、④医療の専門分化に伴う互いの職種への理解と協働などに、柔軟性を持って対応できる知識・技術・態度がますます求められる。さらに看護学は、他の分野と比べるとその歴史は浅く、しかも看護の基礎理論は社会学や心理学、教育学などを基盤として展開しているものが多い。

以上の理由から、看護教育において、専門教育と人文社会系を中心とする教養教育の有機的連携を確保することが重要である。その意味で医療技術短期大学部が柳戸に移転し、総合大学のなかでの場を共有して学ぶことの利点をどのように生かすのか、身近にある二つの図書館や情報ネットワークをどのように活用していくのかは、今後の看護の可能性を拓く鍵になると考えられる。

図書館のさまざまな資料、学生や教官との出会いを通じて、また他学部の講義を通じて、専門ばかりでなく連携した学びの必要性に学生自身が気づくことが重要になる。さらには、学部を超えて地域社会に共に出るなど、学際的に課題へ取り組む機会も必要であろう。同じ事象を見た場合に互いの専門性がどのように生かされるかを具体的に知ること、専門性を越えようとする努力のもとに、総合化して問題を解決するプロセスを共有する機会を積極的に持つ態度も重要である。学生時代にこのような機会を持つことは、学際化、統合化が求められる課題が多いなかで、自己を知り、汎用性と専門性を考えて研究に取り組む契機になると考える。学部間の壁を打ち破って縦横に交流が進んでいくことを期待したい。そのために教官として、今真摯にすべきことは、4年制大学の実現に向けての取り組みをひたむきに続けることである。

（ひぐち　きょうこ：医療技術短期大学部講師）

館蔵資料紹介　No.17

『岐阜県農家副業写真資料』について

荒　幡　克　己

本学農学部の前身、岐阜高等農林学校は、大正13年に設立された。こうした経緯もあって、大正期から昭和初期にかけての農業関係資料の中には、かなり貴重な史料が残されている。図書館一階には、旧岐阜高等農林学校の資料コーナーが設けられ、当時の蔵書が相当量保存されている。

これに加えて、幾人か、創設当時の関係者の貴重な個人的蔵書も寄贈されて、それぞれ個人名が冠せられた文庫として保存されている。これらのうち、筆者の専門とする農業経済、農業経営関係の史料としては、東海林文庫、山益文庫に幾つか貴重なものがある。

旧岐阜高等農林学校所蔵史料については、和書に関しては、本学創設期の時代性を反映し、戦間期のものが中心となっている。洋書に関しては、当時本学関係者を初めとして多くの有為ある研究者が官費留学生として渡航し、帰国時に、海外での研究成果とともに洋書を持ち帰ったので、これらが本学所蔵となったものが多くある。

洋書の中に、学術的にも貴重なものが多く含まれていることはいうまでもない。特に、分野としては、農村社会学の蔵書に多くの貴重な文献がある。これは、岐阜高等農林学校校歌の作詞者として知られている鈴木栄太郎氏が、農村社会学を専門とし、氏の研究活動によって自ずとこれらの分野の文献が集まったことによるものと考えられる。鈴木氏は、日本における農村社会学の黎明期にあって、その草分け的な存在であり、とりわけ、フランスの農村社会学の日本への紹介に関して第一人者であった。このため、洋書の中でも特にフランスに関するものが多い。

学術的な価値もさることながら、古書市場での市場価値として極めて高いものも幾つか散見される。特に、イギリス農業革命の創設者として知られるアーサー・ヤングの旅行記等の著作は、かなりある。例えば "Sixth Month Tour through the North England", (1770), "The Farmers Tour through the East of England",(1771), "Travels During the Years 1787", (1787), などである。

これらは、いずれも本国イギリスにおいても、希少価値が高いものであり、相当な取引価格となっている。何故これほど貴重なものを当時の日本人留学生が入手できて、現在のように本学図書館に所蔵されるに至ったかは、大変興味深いが、当時の経済情勢を考えると、それなりに頷くことができるであろう。

即ち、本学創設の頃、大正末期から昭和初期にかけては、ヨーロッパは第一次大戦で疲弊し、特に1929年からの世界恐慌はこれに追い討ちをかけた。この時、各国は、競って自国通貨の切り下げに走り、デフレスパイラルの様相を呈していたのである。こうした状況では、日本から持っていった日本通貨の価値が高くなって、比較的潤沢な資金の下で、暴落したアーサー・ヤングの希少本などが手に入りやすかったものと考えられる。

さて、洋書に関する所蔵本に、このようにも興味深いものが多いが、以下では、筆者が専門とする日本の農業史、農政史に関するものに焦点を当てて、和書を対象として、所蔵本の中から、貴重な蔵書の内容とその背景について紹介する。

当時の農業経営を巡る事情としては、第一に副業の奨励を挙げておくべきであろう。明治末期から農政課題として登場した「農家副業の奨励」は、貨幣経済に巻き込まれる中で、農産物価格の変動や低迷に直面し、多くの農家が貧困から脱し切れないままであった実情に対処すべく、農家の現金収入の道を開く方途として、取り組まれるようになったものである。

当時の農政課題の中で最大の懸案は、何といっても地主の搾取の下で抑圧された小作の経済的救済と権利関係の民主化を課題とする「農地制度問題」であった。そして、もう一つが、「米価問題」であった。これらの影に隠れて、「副業の奨励」政策の位置づけは、決して最優先の課題とはならなかった。しかし、農地制度問題にしても、米価問題にしても、その根は深く、容易に解決できる問題ではなかった。これらと比較して、「農家副業の奨励」は、比較的

取り組み易く、効果も短期間のうちの眼に見えるようになる、いわば即効性のある政策であった。

副業の奨励は各地で取り組まれたが、その実態は、断片的な資料が郷土史等に散見される程度であり、今日となっては意外にも不明なままになっているところが多い。農地制度問題や米価問題が多くの研究者によって取り組まれ、またその資料も比較的よく保存されているのと比べれば、体系的な資料の収集と保存は、なされているとは言い難い。このままでは、未踏査のまま実態が解明されないことになる恐れさえある。

このような背景から見ると、大正期から昭和初期の農家副業奨励の実態を辿る資料は、その希少価値が高い。本学所蔵の農家副業関係の史料は、主なものだけでも30点以上ある。その中から、ここでは、「岐阜県副業写真帖」を紹介する。

昭和10年、岐阜県副業紹介所が編集した、この「岐阜県副業写真帖」は、43の農家副業の方法について、個別具体的に、写真によって解説したものである。時期的には、副業政策の奨励が始まったのが明治30年代からであり、大正中期までのものが農家副業奨励の前期、大正末期から昭和初期にかけてのものが後期とされているので、農家副業奨励全体から見れば、最末期のものである。全国的に見れば、副業の必要性は、積雪に閉じ込められる農閑期の長さなどからして、主として北日本で緊要であり、温暖な地域ではそれほどではなかったが、農家の収入確保の手段として他に有力がものがなければ、必要性が高くなるものであり、岐阜県もまた、こうした背景があった。

写真帖に載せられている43の副業種類からは、岐阜県の特徴が感じ取れる。筆頭は、富有柿であり、この他、梨、栗、各種野菜、山葵などの農産物とともに、寒天、凍豆腐、干し柿などの食品加工、更に雛人形、木箸、箒、竹細工、木炭などの工芸加工品などが列挙されている。

冒頭に掲げられている岐阜県副業紹介所所長（岐阜県経済部長）、田中進の序文には、「深刻ナル農山村ノ不況ニ直面シ、之ガ打開ノ途ヲ講ズルハ、頗ル急務ニ属シ、…農業経営ヲ改善シテ其ノ経営ヲ複雑化シ、単純ナル経営ヨリ来ル労力ノ不均衡ヲ是正シテ、農閑期ノ余剰労力ヲ資化シ、以テ収入ノ増加ヲ図リ、一面勤勉ノ美風ヲ助長スル…」とあって、当時の実情が窺える。

写真は、いずれも生産状況が二枚程度、工程別に示され、更に調製・梱包状況、出荷状況とあわせて四枚程度がそれぞれの副業種類毎に示されている。また、それぞれの副業種類について、取り組みがなされている生産組合等の名称、出荷量、販売額等が最後に資料として挙げられている。

農家副業奨励に関する文献資料は、他の府県でもかなり多くのものがあるが、写真としてほとんどの副業種類を網羅する形で保存されているのは、筆者がこれまで見た限りでは、この岐阜県のものが初めてであり、全国的にも貴重なものと言える。この時期の副業奨励は、かなり戦時色を帯びつつあったものであり、初期のものとはやや様相を異にしている。特に、取り組みが集団的であるところは、初期にはなかった性格であり、写真にも集団的取り組みが映し出されている。とはいえ、加工、販売を重視し、現金収入を優先した方針は、不変である。出荷状況の写真が多いところには、こうした特徴がよく出ている。

なお、この他見るべき史料として付言しておくべきものは、「日本のデンマーク」と言われた、愛知県碧海郡関係の史料である。この時期、日本の農業史上注目すべきこととして、農業発展の目標像に、デンマーク農業が取り上げられた。大正中期、社会全体が、大正デモクラシーの思想的昂揚の下で、自由思想が展開されていたが、その延長として、北欧の小国デンマークへの憧憬が国民的な風潮として高まっていった。この脈絡で、農業においても、デンマーク農業が注目されたのであった。そして、その具体的な姿として、全国に先駆けて養鶏中心の畜産導入等によって経営の多角化を実現した愛知県碧海郡安城周辺の農業が、「日本のデンマーク」として着目されたのである。

「日本のデンマーク」と言われた安城農業の資料、及びその指導者として全国的にも有名を馳せた山崎延吉の著作集等は、安城農林高校及び安城市中央図書館に多く所蔵されているが、本学図書館にも、多数所蔵がある。ちょうどデンマーク農業が注目された時期が、岐阜高等農林学校創設の時期に近く、しかも地理的に近いこともあって、当時の本学関係者も、おそらく安城等を視察するとともに、関係資料を多く収集したことであろう。

（あらはた　かつみ：農学部助教授）

1999年　購入雑誌変更リスト

＜新規購入雑誌＞

誌名	配架
JAVA World（和）	総情報
Linus Japan（和）	総情報
New Food Industry（和）	農農場
Quality nursing（和）	医短
Unix User（和）	総情報
アジア経済	図社会
遺伝	遺実施
運輸政策研究	地政策
エネルギー	図機械
大原社会問題研究所雑誌	地政策
外交時報	教法経
果実日本	農農場
看護研究	医短
機械化農業	農農場
季刊国際政治	教法経
経済	地構造
月刊keidanren	地構造
月刊ニューポリシー	地構造
現代化学	遺実施
公社債月報	地構造
コンピュータ＆ネットワークLAN	総情報
財政金融統計月報	地構造
細胞工学（別冊含）	遺実施
実験医学	遺実施
社会科教育研究	教ＣＲ
週刊金融財政事情	地構造
自由民主	地構造
住民と自治	地構造
植物細胞工学（別冊含）	遺実施
税経通信	地構造
世界週報	地構造
蛋白質・核酸・酵素	遺実施
地学教育	教ＣＲ
日経Mac	バーチャル
日経サイエンス	遺実施
日経バイト	総情報
年報政治学	教法経
農業経営研究	農農経
農林業問題研究	農農経
のびゆく食品	図化学
のびゆく農業	図農学
ファイナンス	地構造
フードシステム研究	図化学
物理教育	教ＣＲ
マーケティングサイエンス	農農営
養鶏の友	農農場
Alternatives	教法経
American journal of hypertension	保健センター
American journal of industrial medicine	医分館
Archiv fur kommuralwissennschaften	地構造
Asia-pacific review	地環境
Behavioral ecology & sociobiology	地環境
CA on CD	図学術情報
Cities	地政策
Civil engineering systems	図土木
Clinical cardiology	保健センター
Current biology	医分館
Current mathematical publications	図数学
Ecologist	地政策
Econometrica	農農営
Environment and behavior	地政策
Environmental and resource economics	図土木
Environmental ethics	地政策
Family and consumer sciences research journal	教家政
FEMS microbiology letters	医分館
Foreign affairs	地構造
Forschung journal naue soziale bewegungen	地構造
Human genetics	医分館
Human nature	地環境
Immunity	医分館
Journal of anatomy	図畜産
Journal of environmental economics and management	図土木
Journal of environmental psychology	地政策
Journal of marketing research	農農営
Journal of peace research	教法経
Journal of rheumatology	医分館
Journal of virology	医分館
Medicine and science in sports and exercise	医分館
Nature genetics	図理工
Nature neuroscience	医分館
Nature structural biology	医生２
Naunyn-schmiedeberg's archives of pharmacology	医分館
Neural networks	バーチャル
Nonlinear analysis	図数学
Okajimas folia anatomica japonica（和）	医分館
Postcolonial studies	地環境
Prostate	医分館
Reconstruction	地環境
Review of economic studies	農農営
Sports medicine	保健センター
Transport policy	地政策
Transportation research Part D	図土木
Transportation research Part E	図土木
Transportation research Part F	図土木
Wordsworth circle	地文化
Xenobiotica	医分館

＜購入中止雑誌＞

誌名	配架
Basic 教室	教数学
MacUser（和）	バーチャル
Molecular medicine（和）	図畜産
Radioisopes（和）	放同研
Super ASCII（和）	総情報
Wired（和）	総情報
家の光	農農場
オルタ	地環境
環境と公害	図化学
季刊科学と思想	地文化
銀色世界	地文化
菌蕈	図林学
鶏鳴新聞	農農営
外科治療	図畜産
現代詩手帖	教英語
食肉通信	農農営
新花卉	農園芸
生協運動	農農営
畜産コンサルタント	農農営
地図	教地理
デーリイマン	農農営
飛ぶ教室	教国語
肉牛ジャーナル	農農営
日本草地学会誌	図農学
鶏の研究	農農営
農業と経済	農農営
脳と発達	医脳外
農林水産技術研究ジャーナル	図農学
文献ジャーナル	医分館
麻酔	図畜産
ミートジャーナル	農農営
薬学雑誌	図畜産
養牛の友	農農営
養豚界	農農営
酪農事情	農農営
酪農ジャーナル	農農営
Academic medicine	医分館
ACP journal club	医分館
Acta chemica scandinavica	医分館
Acta cytologica	医分館
Acta haematologica	医分館
Acta materialia	図機械
Advances in mathematics	図数学
Advances in orthopaedic surgery	医分館
Aerospace science and technology	図機械
Agra food europe	農農営
AMBIO	図土木
American journal of pharmacy and the sciences supp…	医分館

誌名	配架
American journal of physical anthropology. New series	医分館
American journal of the medical sciences. N.S.	医分館
American journal of tropical medicine and hygiene	医分館
Analytical communications	医分館
Animal genetics	図生物
Annals for probability	エシステム
Appita	図林学
Aqua	図土木
Archives of neurology	医分館
Archives of ophthalmology. N.S.	医分館
Archives of oral biology	医分館
Archives of pediatrics & adolescent medicine	医分館
Australasian agribusiness review	農農営
Berichte uber landwirtschaft. Neue folge	図農学
Biochemical and Biophysical Research communications	図化学
Biochemical genetics	図生物
Biochemical systematics and ecology	図林学
Biochimica et biophysica acta: Lipids and lipid metaboli…	図化学
Biochimie	医分館
Biomedical research（和）	医解1
Broiler industry	農農営
Bulletin de la Societe chimique de France	図化学
CALICO journal	教英語
Cancer chemotherapy and pharmacology	医分館
Chemical abstracts	図二次
Chemical reviews	図化学
Clinical genetics	医分館
CMLS, Cellular and molecular life sciences	医分館
Competition & change	地政策
Current problems in cancer	医分館
Current therapeutic research	医分館
Cyberedge journal	バーチャル
Deutsche medizinische wochenschrift	医分館
Development	図生物
Developmental dynamics	医分館
E.L.H.	教英語
Ecology abstracts	流環研
Economic history review	教史学
Egg industry	農農営
Eighteenth-century studies	医短
English historical review	教史学
Environment and planning. A	図土木
Epidemiology and infection	医分館
Eureka	図機械
Evolution	図生物
Experimental techniques	図機械
Farm management	農農営
Feedstuffs	図畜産
Field crop abstracts	図二次
Fluid abstracts	図二次
Forest products journal	教技職
Forschung im ingenieurwessen	図機械
Functional analysis and its applications	エシステム
General and comparative endocrinology	医解1
Genetics	図生物
Geological society of America bulletin	教地理
Grasslands and forage abstracts	図二次
Heart	医分館
Helvetica chimica acta	医分館
Hispanic American historical review	地構造
Holz als roh-und werkstoff	図林学
Holz forschung und holz-verwertung	図林学
Houille blarche. N.S.	図土木
Icarus	教地学
IEE proceedings circuits, devices and systems	図電気
IEE proceedings communications	図電気
IEE proceedings computers and digital techniques	図電気
IEE proceedings control theory and applications	図電気
IEE proceedings electric power applications	図電気
IEE proceedings generation, transmission and distributi…	図電気
IEE proceedings microwaves anntenas and propagation	図電気
IEE proceedings optoelectronics	図電気
IEE proceedings radar sonar and navigation	図電気
IEE proceedings science measurement and technology	図電気
IEE proceedings software engineering	図電気
IEE proceedings vision image and signal processing	図電気
International journal of bifurcation and chaos	エシステム
International journal of physical chemistry	図化学
Journal contents in quantitative methods	工情報
Journal of general physiology	医分館
Journal of applied ecology	図生物
Journal of cerebral blood flow and metabolism	医脳外
Journal of computational physics	工情報
Journal of dental research	医分館
Journal of fish diseases	図畜産
Journal of food biochemistry	図化学
Journal of geophysical research B	教地学
Journal of geophysical research E	教地学
Journal of international food & agribusiness marketing	農農営
Journal of mathematical analysis and applications	エシステム
Journal of medical virology	医分館
Journal of medicine	医分館
Journal of morphology	医分館
Journal of neuropathology and experimental neurology	医分館
Journal of pediatric surgery	医外2
Journal of physiology. Paris	医分館
Journal of research of the national institute of standard	図理工
Journal of steroid biochemistry and molecular biology	保健センター
Journal of structural biology	医分館
Journal of studies on alcohol	医分館
Journal of the american college of surgeons	医分館
Journal of the autonomic nervous systems	図畜産
Journal of the geological society	教地理
Journal of the royal society of medicine	医分館
Journal of vascular surgery（和）	医分館
Language and motivation	図哲学
Language larnning	教英語
Medical education	医分館
Medizinische klinik	医分館
Mitteilungen des kunsthistorischen	教美術
MTZ	図機械
Naturwissenschaften	図理工
Naturwissenschaften	医分館
Nineteenth-cencury literature	医短
Paragone	教美術
Parasitology	医分館
Partisan review	教英語
Philosophical magazine letters	図物理
Philosophical transactions of the Royal Society of London	図物理
Photogrammetric record	教地理
Physical review and physical review letters index ser,3	教物理
Physical review letters	教物理
Physical review ser.3D	教物理
Poetry	教英語
Poetry review	地文化
Postgraduate medical journal	医分館
Poultry international	農農営
Practice periodical of hazardous	図土木
Proceedings of the IEEE	図電気
Proceedings of the nutrition society	図畜産
Proceedings of the society for experimental biology	医分館
Psychological bulletin	図哲学
Public health reports	医分館
Pulp and paper canada	図林学
Radio science	図電気
Research in immunology	医分館
Rice abstracts	図二次
Russian academy of sciences: Doklady mathematics	エシステム
Russian mathematical surveys	エシステム
Sbornik mathematics	エシステム
Scandinavian journal of gastroenterology	医分館
Shakespeare quarterly	医短
SIGIR forum	工情報
Solid state communications	工電子
Stereotactic and functional neurosurgery	医分館
Thoracic and cardiovascular surgeon	医分館
Tropical medicine & international health	医寄生
Twentieth cencury literature	医短
Vox sanguinis	医分館
Water environment research	医分館
Water research	図土木
Water resources bulletin	図土木
Wood and fiber science	図林学
Workbench	教技職
Zeitschrift fur agrargeschichte and agrarsoziologie	図農学
Zeitschrift fur geomorphologie	教地理
Zeitschrift fur naturforschung B	図理工
Zentralblatt fur chirurgie	医分館
Zentralblatt fur neurochirurgie	医分館

私の目から見た図書館

春日井　里美

白い建物が立ち並ぶ岐阜大学において、図書館は茶色い煉瓦色の建物であり、人々の一番目につく所に位置していると思います。しかし、入学して間もない頃は、その建物が図書館であるとは知らずにいました。

その後しばらくして、総合情報処理センターの教育用システムのパソコンを利用するに当たっての説明会が行われました。学内には、そのセンターの他に図書館にもパソコンが設置されており、学内の生徒ならば誰でも利用が可能です。それで、そのパソコンの利用法や電子メール（E-mail）のやり方等を教わりました。

私は早速空き時間を利用して図書館を訪れてみました。入館する時に、図書館利用証が必要なのに驚きました。私以外にも図書館利用者はたくさんいてそこに設置されている十台のパソコンは既に、他の人に全て利用されていました。それでも、順番を待ち、やっとパソコンに触ることが出来ました。ほとんどパソコンを使用したことのない私は、説明会で教わったことを思い出しながら、慣れない手付きでキーボードを叩きました。なんとか、送信するまでに辿り着きました。

数日後、また図書館を訪れていました。その時もメールを友達に送ろうと思い、パソコンの画面を見たら、友達からの返事が入っていました。きちんと自分のメールが送られたことがとても嬉しく、自分でもやれば出来るのだな、と思いました。

私は本を読むことも好きではあるが、これから二年生になると専門分野が増え、研究するための資料探しのために、図書館を利用する機会の方が多くなると思います。そんな図書館だからこそ、誰もが利用しやすい図書館であってもらいたい、と私は思っています。

（かすがい　さとみ：地域科学部１年）

お　知　ら　せ

・岐阜大学附属図書館報のペーパーレス化について

岐阜大学附属図書館報は、平成２年発行の創刊号から現在の27号まで印刷による冊子で発行してきました。また、最近の発行号については、図書館ホームページにも掲載しています。

現在の情報メディアは、情報通信ネットワークの発達やパソコンの普及に伴い情報のデジタル化（電子化）による情報化社会を意識した媒体が増加しつつあります。このような社会的な趨勢を鑑みて岐阜大学附属図書館報もこれまでの印刷媒体での発行形態を中止して、次号以降はインターネット上のホームページだけでの提供で、ペーパーレス化することになりましたのでお知らせします。

岐阜大学附属図書館報掲載ＵＲＬ：
http://www.gifu-u.ac.jp/~gulib/kanpo.html

・医学中央雑誌のネットワーク利用について

４月から、医学中央雑誌ＣＤ－ＲＯＭがネットワーク化され、各研究室から利用していただけます。

なお、利用は司町キャンパスに限定され、Macパソコンでは通信プロトコルの関係でエミュレータソフト等が必要になります。詳細は、次号に掲載予定ですのでホームページ上でご覧下さい。

職　員　の　異　動　平成11年１月

１．１　昇　　任　弘瀬　高久　情報サービス課長（愛媛大学附属図書館情報管理課図書館専門員）

１．１　配 置 換　青木利根男　横浜国立大学附属図書館情報サービス課長（情報サービス課長）
注：（　）内は旧

岐阜大学附属図書館報「寸胴」第27号　1999年３月31日
編　集　委員長：宇野尚雄　委員：市川紀男，原　明，西川一八，弘瀬高久，村上喜廣，上口正昭
発　行　岐阜大学附属図書館
〒501-1192　岐阜市柳戸１番１　☎058-293-2184